法人会青年部会会報誌

発行日／2026 10.31

YUME TAKKUSU
夢タックス No.64

発行者／(公社)新潟法人会青年部会　事務局／新潟市中央区西堀通3番町258番地24　にいがた法人会館内　TEL025-223-1242

令和８年度　通常総会



令和８年６月９日ホテルイタリア軒におきまして、第15回通常総会が開催されました。

議案は、第１号議案　令和７年度事業報告承認の件、第２号議案　令和７年度収支決算承認の件、第３号議案　令和８年度事業計画（案）承認の件、第４号議案　令和８年度収支予算（案）承認の件、第５号議案　役員選任（案）並びに組織変更（案）の件、の５議案が説明され、無事承認の運びとなりました。

そして遠藤部会長より、青年部会の基本方針である税の啓発を中心とした租税教育活動の普及と、財政健全化の為の健康経営の推進、そして運営基盤となる会員拡大への更なる取組みへの方針が述べられました。また新潟税務署副所長五十嵐記子様、新潟法人会副会長高橋尚子様よりご祝辞を賜りました。

総会終了後には講演会を開催し、昨年に引き続き新潟税務署副署長の五十嵐記子様を

夢タックス YUME TAKKUSU | No.64 | 発行日 2026.10.31

発行者／(公社)新潟法人会青年部会　事務局／新潟市中央区西堀通3番町258番地24　にいがた法人会館内　TEL025-223-1242

Tax education activities

租税教育活動について



令和８年度の租税教育活動では、５月から７月にかけて新潟市内の小学校16校で租税教室を実施し、34コマ、1109名の児童に出前授業を行いました。講師として参加した部会員は23名（延べ43名）で、そのうち７名が今回初めて講師を務め、組織全体で活動の輪が広がっています。

租税教室と聞くと、「税金の仕組みや使い道を学ぶ授業」というイメージを持たれるかもしれません。しかし今年度、坂井副部会長を中心に関口副部会長のお力もお借りして、租税教育のあり方を見直し、「税を学ぶから、社会を考える」をテーマに活動を進めました。私たちが目指しているのは、税の必要性を教える「納税者教育」だけではなく、税を通して社会や地域の未来を考える「主権者教育」です。税を入り口として、「どのような社会が望ましいのか」を自分自身の問題として考えてもらいたいと考えています。

そのため今年度は、児童が主体的に参加するアクティブラーニング型の授業へと転換しました。一方向の説明だけでなく、グループワークを通じて「考える」「聞く」「比べる」「選ぶ」時間を重視し、自ら判断し対話する力を育む授業に取り組みました。

また、授業で使用するパワーポイント教材も大きく見直しました。税金の使い道を「命を守る」「生活を支える」「未来をつくる」の３つの視点で整理し、「未来をつくる税金」の具体例として、新潟市の「にいがた2km」プロジェクトを紹介しています。身近な地域の事例を通じて、税と社会のつながりを実感できる内容としました。

さらに、租税教室を継続的に運営していくための仕組みづくりにも取り組みました。標準シナリオや教材、指導案をGoogleドライブで共有するとともに、小学校との連絡体制を強化し、講師と担当教諭が円滑に連絡を取り合える環境を整えました。こうした取組を通じて、経験やノウハウを次世代へ引き継ぐ体制づくりを進めています。



最後に、租税教育の趣旨をご理解いただきご協力いただいた先生方、積極的に参加してくれた児童の皆さん、そして講師としてご尽力いただいた部会員の皆様に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちが社会を自ら考え、未来を選択する力を育む租税教育活動に取り組んでまいります。

租税教育委員長　羽田 豊

青年部会　部会員募集!!

青年部会は税務研修・企業訪問・社会貢献事業・親睦交流等活発に、
そして楽しく活動しております。
今後の更なる発展に向け、ただいま新入部会員の大幅増強を図っております。
法人会会員企業の皆様より、経営者や後継者、経理・営業部門の幹部候補の方々を
ご推薦賜りたくお願い申し上げます。

(公社)新潟法人会　青年部会
●お問合せは　法人会事務局／TEL025-223-1242

法人会青年部会は
献血サポーターに
登録しています
献血サポーター
私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

令和８年度　通常総会



講師としてお迎えし、「国の財政を支える源泉所得」をテーマにご講演いただきました。五十嵐様は本県上越市のご出身で、昨年の国税庁勤務時代のお話が大変印象深く、今年も興味深い内容を数多くご紹介いただきました。

講演では、国税組織の役割や源泉徴収制度の成り立ちに加え、国会担当時の裏話など、普段触れることのない視点から税務行政を語ってくださいました。さらに、歴代総理大臣が揮毫（きごう）した「國酒」の色紙も紹介されました。「國酒」とは、日本酒や焼酎といった日本の伝統酒を〝国の文化として大切にしている〟ことを示す象徴的な言葉で、総理大臣が揮毫するのはその文化的価値を後押しする意味があるとのことでした。実際に色紙を拝見し、こうした文化的な取り組みがあることを初めて知り、大変興味深く感じました。新潟法人会に所属しているからこそ、普段の生活では触れられない知識や経験に出会えるのだと改めて実感しました。

講演会終了後は懇親会を開催し、ご多忙中にも関わらずご出席いただいたご来賓の皆様方と部会員相互の交流を通じ、より一層の積極的活動に向けた活発な意見交換をすることができました。

総務委員長　瀬賀　雄太

Sports Competition

スポーツ大会について

令和８年　５月１３日(水)



毎年、会員の親睦と交流を目的として開催している新潟法人会青年部会のスポーツ大会を、令和８年５月13日に実施いたしました。

午前は櫛形ゴルフ倶楽部にてゴルフ大会を、夜からはにいがた法人会館にてモルック大会を行い、部会員、OB、女性部会の皆さまを含め、ゴルフ大会には14名、モルック大会には26名と、多くの方々にご参加いただきました。

青年部会では恒例となったモルック大会は、令和６年１月の会員交流会で初めて導入して以来、老若男女問わず屋内外で楽しめるスポーツとして定着し、今では「これがなくては始まらない」と言えるほど存在感を示しております。

モルックは、チーム内のコミュニケーションが自然と育まれ、企業の社員研修やチームビルディングにも有効と考えられており、実際に青年部会員企業においてモルックを活用した研修が行われた例もございます。また、他地区の青年部会でも健康経営の一環として取り組みが広がっているようです。

当日は、ゴルフ大会・モルック大会ともに珍プレー・好プレーが続出し、終始笑いの絶えない一日となりました。交流会では、スポーツ大会の振り返りを肴に、OB・女性部会・青年部会の垣根を越えた交流が深まり、より一層の親睦を深める貴重な機会となりました。新潟法人会青年部会の和気あいあいとした活動を知っていただく良い機会にもなったと感じております。

これからも、青年部会の交流と親睦、そして会員増強につながる楽しいスポーツ大会として、皆さまが「次回も参加したい」と思っていただけるような運営を続けてまいります。結びに、今回の大会開催にあたりご尽力いただきました皆さまに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。



副部会長　土田　隆太郎

令和８年度 第１回 研修会

令和８年　４月　９日(木)



令和8年4月9日、にいがた法人会館にて、当会会員企業である株式会社フジ・クリエイティブセンターの福沢栄樹氏を講師にお迎えし、ブランディングセミナーを開催いたしました。

本セミナーでは、ブランディングの基本的な考え方やその役割について、事例を交えながらお話しいただきました。価格や機能だけで選ばれることが難しい環境の中、「なぜ、その会社を選ぶのか」という理由づくりの重要性を解説されました。さらに、フレームワークを用いて自社や顧客を捉え直し、価値を見つけ、それをブランド・アイデンティティとして形にするプロセスも紹介されました。表面上の見せ方を整えるのではなく、自社の価値を見つめ直すことの大切さを学びました。

ブランドは目に見える商品やサービスそのものではなく、企業が積み重ねてきた信頼や価値を形にした「無形資産」のひとつであるという考え方が、特に印象に残りました。自社が培ってきたものに目を向け、これからの価値につなげていくことについても考えさせられる内容でした。

今後も、部会員の皆様が自社ならではの価値を見つめ、経営に生かすきっかけとなる研修会を企画してまいります。

会員研修・健康経営委員長
後藤　祐太朗

令和８年度 交流研修会

令和８年　７月　８日(水)

令和8年7月8日、にいがた法人会館にて会員交流研修会を開催いたしました。講師には、当会会員の株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所代表取締役社長の土田隆太郎氏を迎え、「今、求められるオフィスとは」と題して、ご講演いただきました。講演では、同社の成り立ちや、土田氏が大切にされているデザインや仕事への思想について、お話しいただきました。

特に住宅事業については、手掛けられた住宅の外観写真を紹介しながら、熱い思いを込めて語られました。古い住宅をリノベーションした事例と新築住宅を並べ、「どちらが古い家でしょうか？」と問いかける場面では、会場も盛り上がりました。既存の価値を活かし、新たな魅力を生み出す発想も印象的でした。

後半では、オフィス環境の改善事例も紹介され、単なる「仕事をする場所」ではなく、「人」を中心に考え、空間を人や組織の成長を支えるものとして捉える視点について学びました。





今回の研修会を通じ、土田氏の人柄や仕事への情熱、同社のものづくりへの姿勢を知る貴重な機会となりました。会員同士が、互いの仕事や思いを知り、今後のさらなる交流につながることを期待しています。

会員研修・健康経営委員長
後藤　祐太朗